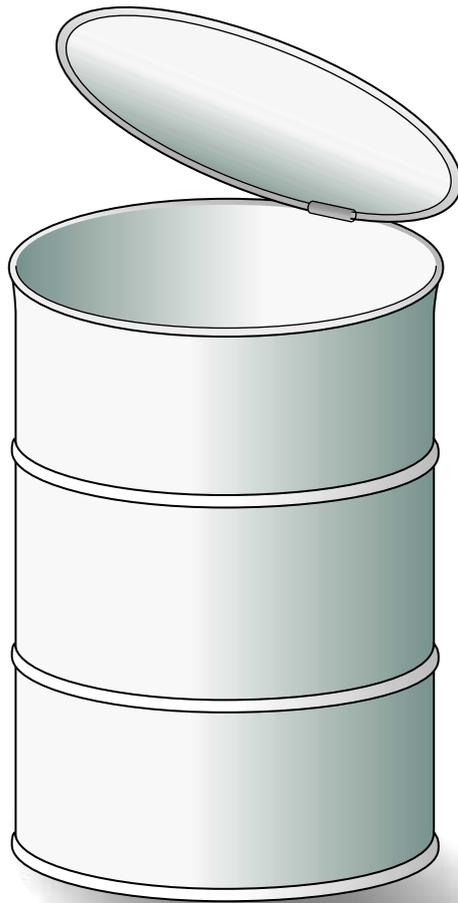




鋼製オープンヘッドドラム (JISZ1600)

取扱上の注意

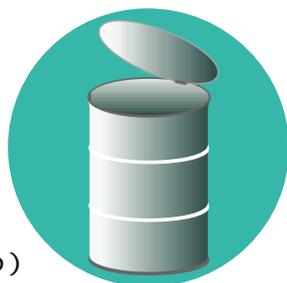
ここに示している注意事項は、
鋼製オープンヘッドドラムを正しくお使い頂き、
充填内容物の保護と取扱う人々への危害や損害を
未然に防止するためのものです。



ドラム缶工業会

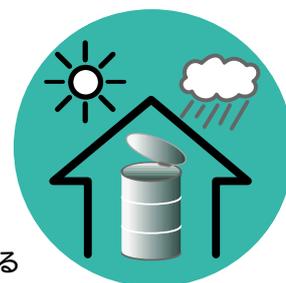
鋼製オープンヘッドドラム(JISZ1600)

1. 基本的要件



- (1) 内容物の性状に合った鋼製ドラム(以後ドラムという)を使用してください。
- (2) 内容物の改良品や新製品の場合は必ず実缶試験で確認後、ご使用ください。
従来品でも添加剤や不純物の変化によって腐食性が大きく変動することがあります。
- (3) 内容物によっては鋼板を腐食し漏洩する危険があります。特に腐食性のある内容物を充填される場合は、ドラムメーカーに問い合わせのうえご使用ください。
- (4) 内容物によっては危険物容器基準の関係法規(消防法、危険物船舶運送及び貯蔵規則、毒物及び劇物取締法等の収納・保管・運送に関する規定)をお確かめの上ご使用ください。
- (5) 輸出用として使用される場合は輸出先の廃棄物規制に適合するドラムをご使用ください。
- (6) 化成処理被膜(りん酸亜鉛とりん酸鉄)は塗装下地形成を主目的とする被膜であり、短時間の一次防錆効果はありますが耐錆性を目的としたものではありません。
- (7) 安全にご使用頂くために本来の目的以外には使用しないでください。
- (8) 落下、突起物の衝撃によりドラムの天蓋とカール部を極端に変形させた場合、漏洩のおそれがあります。また、巻締め端部に極端な変形やすり疵をつけると、破損して漏洩のおそれがありますので、取扱いに注意してください。
- (9) 取扱いには保護手袋を使用してください。

2. 空缶時の保管



- (1) ドラムは必ず屋内保管してください。屋外保管すると雨水を吸収します。
- (2) 高温多湿や酸や塩分等の腐食性のある環境下での保管はドラムの劣化を早めるおそれがあります。
- (3) 温度差のある条件下で保管した場合、ドラム内の空気中の水分が結露し、ドラム内面の錆発生の原因となることがあります。また、結露水が内容物に混入するおそれもあります。ドラムは納入後、1週間以内のご使用をお願いします。
- (4) 充填時以外に天蓋またはプラグを開放したままにしますとドラム内に異物が混入し缶内を汚染するだけでなく、湿った空気が混入しドラム内で結露が発生しやすくなりますので注意が必要です。
- (5) 内面塗装ドラムは特に変形にご注意ください。変形の度合いによっては内面塗膜が剥離するおそれがあります。
- (6) 天蓋にクロームメッキ製のフランジ(口金)付きの場合は加工によるクラックの影響で錆び易いため、この仕様を有するドラムの高温多湿場所での保管は特にお止めください。

3. 充填時・充填後保管及び抜き取り時



- (1) オープンバンド、天蓋の取り外し、取り付け作業時は金属端部で手を傷つけたり挟まれないように注意してください。
- (2) 天蓋取り外し時にダストや外装塗膜片が缶内に落下しないよう注意してください。
- (3) 口金付きの場合プラグの開閉には、専用の器具を使用し充填後は適切なトルク値で締め付けてください。
- (4) 容器への収納は関係法令の規定(消防法・危規則、船舶による危険物の運送基準等を定める告示、毒劇物取締法小型運搬容器の基準等)により、必ずドラム内に内容物に応じた空隙量や収納方法を確保してください。
- (5) 充填時及び取り出し時、内容物を天板上にこぼさないようにしてください。内容物により塗膜の剥離や表示マーク等が消えることがあります。
- (6) 高温の内容物を充填した場合は、出来るだけ内容物が常温に下がってから天蓋またはプラグの本締を行ってください。高温充填後直ぐに天蓋や口金を密封しますとバキューム現象によりドラムが変形したり外気水分吸入の原因となります。口金付きでプラグのガスケットがポリエチレン製の場合は、軟化変形してプラグが緩み漏洩するおそれがあります。
- (7) 充填後保管中、バンド締め付けが緩んでいることがありますのでボルトバンド式は出荷前に増し締めを行ってください。レバー式バンドは緩まないようにビス止めや封印等を忘れずにお付けください。
- (8) 充填済みのドラムの移動には、怪我、腰痛及びドラムの変形、疵、破損、漏洩に注意し、できるだけリフター、フォークリフト等をご使用ください。
- (9) 内容物充填後のパレット積においては、偏荷重による荷崩れにご注意ください。天蓋ガスケットが圧縮変形し漏洩のおそれがあります。
- (10) ドラムは必ず屋内保管してください。屋外保管では天蓋ガスケット部から雨水を吸収したり、直射日光や寒暖差により内容物の品質に悪影響を与えるおそれがあります。特に内面塗装ドラムでは内容物により塗膜が劣化し膨れや剥離等が発生する恐れがあります。
- (11) 充填後ドラムの依積(横積)はお止めください。胴体の変形により内容物が漏洩します。
- (12) 口金付きの場合金属製のキャップ、キャップシール取り外し時は保護手袋と適切な治具を使用してください。金属端部で手を傷つける恐れがあります。
- (13) 内容物充填後のプラグ、キャップ開栓時には、保護具使用の上、内圧による内容物の飛散にご注意ください。
- (14) 内容物取り出しの際ドラムを加熱すると内容物の噴出やドラム内面の化成被膜や塗膜を劣化させ内容物の品質に変化を及ぼす恐れがあります。直火は厳禁です。
- (15) 使用済みドラムを加熱したり切断したりしないでください。万が一必要な場合は、内容物を完全に除去し、ドラム内を洗浄し、ドラム内の残留蒸気を取り除いた上で開放状態にして行って下さい。
- (16) 使用済みドラムを廃棄する時は内容物を抜いて内部を洗浄後関連法令(廃棄物処理法等)に従い廃棄してください。



<http://www.jsda.gr.jp>



ドラム缶工業会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10(鉄鋼会館6階)

TEL. 03-3669-5141 FAX. 03-3669-2969

e-mail: drum.pail@jsda.gr.jp

ドラム缶(200L及び中小型缶)メーカー会員会社

斎藤ドラム缶工業株式会社
山陽ドラム缶工業株式会社
JEF協和容器株式会社
JFEコンテナ株式会社
株式会社ジャパンペール
ダイカン株式会社
株式会社東京ドラム罐製作所
東邦シートフレーム株式会社
日鐵ドラム株式会社
森島金属工業株式会社
株式会社山本工作所